

貯法 室温保存、気密容器

動物用医薬品

承認指令書番号 3動物第118号

## マクロライド系抗生物質製剤

指定医薬品 使用基準

## 水産用エリスロマイシン20%散「KS」

エリスロマイシン散

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤はエリスロマイシンを有効成分とする散剤です。エリスロマイシンは *Streptomyces erythreus* の培養液から分離されたマクロライド系抗生物質で、グラム陽性菌、一部のグラム陰性菌に抗菌作用を示します。

エリスロマイシンは経口投与により吸収され、各臓器や組織に広く分布し、特に肝臓、腎臓、脾臓へ高濃度に移行します。また、脳へはマクロライド系抗生物質の中で最も高濃度に移行します。

## 【成分及び分量】

本品 1 g 中

有効成分	含量
エリスロマイシン	200 mg(力価)

## 【効能又は効果】

エリスロマイシン感受性菌による下記疾病の魚類の死亡率の低下  
すずき目魚類：連鎖球菌症

## 【用法及び用量】

魚体重 1 kg当たり、1日量として本剤0.125～0.25 g [エリスロマイシンとして25～50 mg(力価)]を配合飼料等に混合した後、飼料に均一に混ぜて5日間投与する。

水産用エリスロマイシン20%散「KS」の  
魚体重別常用量（単位：g）

魚体重 尾数	1,000尾	3,000尾
100 g	12.5 ~ 25	37.5 ~ 75
300 g	37.5 ~ 75	112.5 ~ 225
500 g	62.5 ~ 125	187.5 ~ 375
1,000 g	125 ~ 250	375 ~ 750
1,500 g	187.5 ~ 375	562.5 ~ 1,125

魚体重 尾数	5,000尾	10,000尾
100 g	62.5 ~ 125	125 ~ 250
300 g	187.5 ~ 375	375 ~ 750
500 g	312.5 ~ 625	625 ~ 1,250
1,000 g	625 ~ 1,250	1,250 ~ 2,500
1,500 g	937.5 ~ 1,875	1,875 ~ 3,750

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- ・本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- ・本剤は、指導機関（家畜保健衛生所、魚病診断総合センター、水産試験場等）に相談の上使用すること。

- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（すずき目魚類）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

すずき目魚類：食用に供するため水揚げする前30日間

## (使用者に対する注意)

- ・飼料等に混合する際は、保護メガネ、マスク、手袋、作業着等を着用し、粉じん等を吸い込まないよう注意すること。

## (取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けのこと。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの空容器等は地方公共団体条例等に従い適切に処分し、他に流用又は転用しないこと。
- ・本剤を廃棄する場合には、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い適切に処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

## (使用者に対する注意)

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・エリスロマイシンには、起炎性があるとの文献報告があることから、取扱いに際しては眼や皮膚に付着しないように注意すること。もし、本剤が眼に入った場合には、直ちに水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。

## 【薬理学的情報等】

## (薬物動態)

水温約27°Cで、本剤100 mg(力価)/kgを約158 gのブリに単回経口投与した場合、最大血中濃度到達時間( $t_{max}$ )は1時間、最大血中濃度( $C_{max}$ )は19.3 μg(力価)/mL、血中濃度-時間曲線下面積( $AUC_{48}$ )は164 μg(力価)·hr/mLであった。

## (薬効薬理)

エリスロマイシンの作用機序は、細菌のリボソーム50Sサブユニットに作用してペプチド転移酵素反応を阻止し、細菌のたん白合成を阻害し、静菌的に作用する。

## 【包装】

10 kg (1 kg × 10分包)

## 【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL:03-3264-7559

製造販売業者


**共立製薬株式会社**  
 東京都千代田区九段南1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

MCE07-A2211